



① YEG活動の幅が広がった県連会員大会
② 西九州新幹線開業イベントでMCを務めた様子
③ 親子向けアンガーマネジメント講座で講師を務める高橋さん



お問い合わせは、
メールまたはホームページの
専用フォームより
お気軽にお寄せください♪



Information

ソーシャル オフィス
Social Office

10:00~18:00
info@socialoffice.jp
https://socialoffice.jp/

Instagram nagasaki_cp 検索
X nagasakicp 検索



Instagramは
こちらから



Xは
こちらから

YEGのつながりで、みんなを笑顔に
高橋さんは、今年度長崎YEGへ入会した
会長となりリーダーとして組織を引っ張って
いる。
「今年度は『Smile for all, Smile for YEG
(みんなに笑顔を、YEGに笑顔を)』をスロー
ガンに掲げており、一年を通して笑顔で駆け
抜けられるような会の運営を心がけています」
と高橋さん。

言業と声の伝え方で人々や地域に喜びを
司会や講師の仕事をしていくなかで、
言葉で伝えることの難しさをよく実感する
という高橋さん。
「司会としても講師としても、時代の流れ
や現場の雰囲気を感じ取り、自分が選ぶ言
葉や声のトーンで柔軟に対応することが重
要だと思っています。今後とも一層スキルを磨き、
自分の声と言葉から広がる人々の笑顔や感
動をこれからも感じていきたいです」
また、本年1月28日より開催となる「全国
商工会議所観光振興大会2025 in 長崎」

知ったという。それから、子どもを対象と
したプログラムから学び始めた。
「アンガーマネジメントとは、怒りの感情
と上手に付き合うための心理トレーニング
です。『怒らない』ことを目的とするのでは
なく、怒りについて知識を深め、自分の感
情を理解し、適切に表現することで、より
良い人間関係の構築を目指します。パワハ
ラの予防にもアンガーマネジメントが有効
とされており、最近では社員教育の一環と
して依頼されるケースが増えています。価
値観が多様化している現代社会において、
その重要性がますます高まっていますと感
じます。」

また、「YEGの活動は、自分の興味がある
ことばかりで、すべてが楽しいです。今まで
特に印象に残った経験は、令和3年度に
長崎市で開催したYEGの県連大会ですね。
担当委員会に所属し実行部隊として携わり、
大会当日は総合同会も務めました。コロナ
禍で大会が延期するなど苦悩を抱えること
もありましたが、大会を終えると喜びと達
成感を得られました。県下全域の会員さん
と交流することで、広い視野での考え方や
価値観に触れることができ、YEG活動の幅
が広がった大会になりました」

では分科会のファシリテーターを務める。
「まつり・イベント」をテーマとした第4
分科会において、パネリストの方々が議論
する内容のまとめ役を担当します。長崎に
は地域に根差したお祭りがたくさんあり、
街の活性化や人々の居場所づくりには大き
な役割を持っていると思います。特に今回は、
長崎の歴史や文化、魅力あふれる賑やかな
イベントに関心を持った方々が全国各地から
集まるので、一つでも多くの魅力を伝えられ
る場にしていきたいです」と抱負を語った。
司会者、講師業それぞれに共通した話し手
のスペシャリストとして、自身のスキルを
常に磨き続ける高橋さん。
「アンガーマネジメント」や「話し方講座」での
講師の依頼は、お気軽に高橋さんへご相談
ください！



ソーシャル オフィス
Social Office
代表 高橋 佳子 さん



「話す仕事」で笑顔あふれる長崎を目指して

今回のがんばってますは、ブライダルやイベント等での司会業や、「アンガーマネジメント
講座」の講師など「話す仕事」で活躍する傍ら、本所青年部の令和6年度会長を務める、
Social Officeの高橋佳子さんをご紹介します。



人と関わるのが好き！で始めた司会業
子どもの頃から人と話すことが好き
だった高橋さんは、小中高時代は放送委員
や放送部に所属し、アナウンサーやMCと
いった司会業に憧れを持っていったという。
高校卒業後は、地元・長崎でバスガイドと
して就職し、仕事をしながら「プロ」の司
会者を育成するMCスクールに通い、転職
しフリーアナウンサーとして司会業の道へ。
市内の司会者事務所にて在籍し様々な現場で
経験を積み、平成30年に独立した。
「今年度フリーアナウンサーとして20年を
迎えます。これまでテレビ・ラジオのレポ
ーターや1000組以上の結婚披露宴での司会、
イベントや式典の現場などに携わってきま
した。依頼をいただいた際には、お客様と
「心が通い合う」司会ができるよう心がけ
ています」

子育ての経験から
怒りの感情との付き合い方を学ぶ
「子育てには2人の娘の母親でも
ある高橋さんは、司会業としての仕事が増
えてきた頃、親子で意見がぶつかり合うこ
とが多くなり、子どもとのコミュニケーション
に悩んでいた時期があった。そんな中、イン
ターネット上で「怒りたくない」と検索した
ところ、「アンガーマネジメント」の存在を